

第6章 活気のあるまちづくり(活力ある産業)

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

1 中山間地域農業を育む

中山間地域の生産条件の不利性や農業従事者の高齢化の進行に対応し、地域における担い手の育成や農地利用集積の合意形成を進めるとともに、耕作放棄地の解消と発生防止に努めます。また、農家の類型に応じた相互間での補助労働力等の提供などにより、地域ぐるみで地域資源の維持管理、農村コミュニティの活性化、公益機能の保全など農業の継承を図ります。



第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
1) 農業生産環境の整備	◆ 農地の転用・編入等は、農業振興地域整備計画に基づき適正な管理を行っています。また、生産条件を確保するため農地集積推進や鳥獣害対策などを総合的に行っています。今後も農業振興を図るため農業生産体制の整備を進めることが必要です。	◇ 地域の特性に応じた農業経営の振興を進めます。 ◇ 耕作放棄地の防止に努め、遊休農地の活用を支援します。 ◇ 農地環境を守るため、猟友会を通じた有害鳥獣の捕獲や防護柵の設置等を支援します。	農業振興地域整備計画の推進 農用地区域の適正な管理を行い、地域の実情に応じた農地の利用を推進します。 農地の整備と農地利用の集積 県や町の補助金による整備を進め経営の安定を促進し、耕作放棄地対策事業終了後の土地の維持管理について検討します。 遊休農地の再利用 遊休農地を活用し、耕作する農業者に対し補助金を交付します。 鳥獣被害対策の推進 農作物を鳥獣の被害から守るために講じた取り組みに対し費用の一部を補助します。	住民の役割 農地の整備や遊休農地の活用を積極的に図ります。 事業者の役割 農地の環境整備を幅広く支援します。	町民アンケート調査より、農林業の振興に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） 現況値(H23) 目標値(H28) 6.5 30.0 農業経営支援事業の申請件数（件） 現況値(H23) 目標値(H28) 138 180 遊休農地の解消面積（a） 現況値(H23) 目標値(H28) 150 200 有害鳥獣（猪・鹿・カラス）の駆除数（匹） 現況値(H23) 目標値(H28) 327 430
2) 経営組織・担い手の育成	◆ 集落営農の組織化・法人化が求められていますが、5年間では実現できていません。 ◆ 現在、一定の認定農業者がいるものの高齢化が進んでおり、新たな担い手の発掘・育成をいかに進めていくかが課題となっています。	◇ 集落営農の組織化・法人化や生産組織の団体の立ち上げなどをさらに促進するとともに、新たな担い手の育成に努めます。	集落営農の促進 集落営農の組織化・法人化に向けて再度検討し促進します。 担い手育成 就農を希望する定住者への斡旋の継続と担い手を育成するため認定農業者の農業資金活用の金利負担の軽減等の支援をします。 生産組織、農家団体の育成 山椒・柿等の特産物の生産や各種研究会への支援に取り組みます。	住民の役割 研修や講習会に積極的に参加します。 事業者の役割 新たな担い手の育成に努めます。	認定農業者数（人） 現況値(H23) 目標値(H28) 46 50 新規就農者数（人） 実績値(H22) 目標値(H28) 2 5 研修会への参加者数（人） 現況値(H23) 目標値(H28) 50 100



第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標																								
3) 農産物の流通・販売の強化	◆ 有機無農薬栽培など環境保全型農業に対する補助や農協と連携した農産物の流通経路の確保など町内の産物、食材の利用促進を行っています。また、主要作物のひとつである柿の消費拡大促進のため、スーパー等での直接販売を関東方面で実施しています。今後も消費者のニーズを踏まえさらに消費拡大を図る必要があります。	◇ 安全な農林水産物および加工品を効率的で安定的に供給できる流通・販売、加工体制を確保するとともに、PRを兼ねた直接販売等を全国的に展開し、消費拡大を図ります。	安全・安心とおいしい作物の推進 有機農業の取り組みや農薬の低減に対し支援します。 農産物の流通確保 都市部での産地直送販売・販売所の設置等を検討します。 地産地消の推進 より多くの町内の産物・食材利用を推進し事業を展開します。 農産加工と食への推進 産品加工所の増築や地元食材を利用した新商品の開発を支援します。	住民の役割 安全安心な農産物の生産や新商品の開発に取り組みます。 事業者の役割 販路の拡大に努めます。	<table><tr><th colspan="2">農業産出額（千円）</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>761,000</td><td>800,000</td></tr><tr><th colspan="2">町内総農家数における販売農家の割合(%)</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>56.5</td><td>70.0</td></tr><tr><th colspan="2">出荷サポート農家数（件）</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>46</td><td>100</td></tr><tr><th colspan="2">町内農産物販売施設における販売額（万円）</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>1,259</td><td>2,000</td></tr></table>	農業産出額（千円）		実績値(H22)	目標値(H28)	761,000	800,000	町内総農家数における販売農家の割合(%)		実績値(H22)	目標値(H28)	56.5	70.0	出荷サポート農家数（件）		実績値(H22)	目標値(H28)	46	100	町内農産物販売施設における販売額（万円）		実績値(H22)	目標値(H28)	1,259	2,000
農業産出額（千円）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
761,000	800,000																												
町内総農家数における販売農家の割合(%)																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
56.5	70.0																												
出荷サポート農家数（件）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
46	100																												
町内農産物販売施設における販売額（万円）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
1,259	2,000																												
4) 農業と観光交流との連携	◆ 平成22年度に2戸の農家が農家民宿施設の認定を受けるなど農業と観光交流との連携は進んできています。今後は来訪者が楽しめるような体験プログラムの商品化を進め、交流を広げていく必要があります。	◇ ニーズの高まりに応えるため、農家民宿や市民農園など農業を生かした観光交流を推進します。	農業を活かした交流 農業を活かした交流活動を通じて、田舎暮らしや就農希望者の体験機会を創出し地域の活性化に繋がります。 グリーン・ツーリズム*の展開 農作業や農家民泊、農林産物を材料にしたものづくり体験などを組み合わせた体験プログラムの商品化を進めます。	住民の役割 農業と連携したイベントに参加します。 事業者の役割 農業と連携した企画開発に努めます。	<table><tr><th colspan="2">農家民宿の数（軒）</th></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2</td><td>7</td></tr><tr><th colspan="2">紀美野ふるさと農園入場者数（人）</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>5</td><td>18</td></tr><tr><th colspan="2">荒廃した山林等に植樹した桜等の本数（本）</th></tr><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>桜 約2,400 もみじ・イチヨウ 約2,200</td><td>桜 2,600 もみじ・イチヨウ 約2,400</td></tr></table>	農家民宿の数（軒）		現況値(H23)	目標値(H28)	2	7	紀美野ふるさと農園入場者数（人）		実績値(H22)	目標値(H28)	5	18	荒廃した山林等に植樹した桜等の本数（本）		実績値(H22)	目標値(H28)	桜 約2,400 もみじ・イチヨウ 約2,200	桜 2,600 もみじ・イチヨウ 約2,400						
農家民宿の数（軒）																													
現況値(H23)	目標値(H28)																												
2	7																												
紀美野ふるさと農園入場者数（人）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
5	18																												
荒廃した山林等に植樹した桜等の本数（本）																													
実績値(H22)	目標値(H28)																												
桜 約2,400 もみじ・イチヨウ 約2,200	桜 2,600 もみじ・イチヨウ 約2,400																												

用語解説

グリーン・ツーリズム...農山村でゆっくりと滞在することを目的とした旅であり、作物栽培・収穫などの農作業や自然とのふれあいなど、農村での生活を体験する余暇活動のこと。

2 豊かな森林資源を育む

林業基盤や施設の整備、林業関係団体等の育成により、森林の適正な管理を促進するとともに、森林資源の有効活用を図りながら、本町の豊かな自然環境の次世代への継承、水資源のかん養、町土の保全など公益機能の維持に努めます。

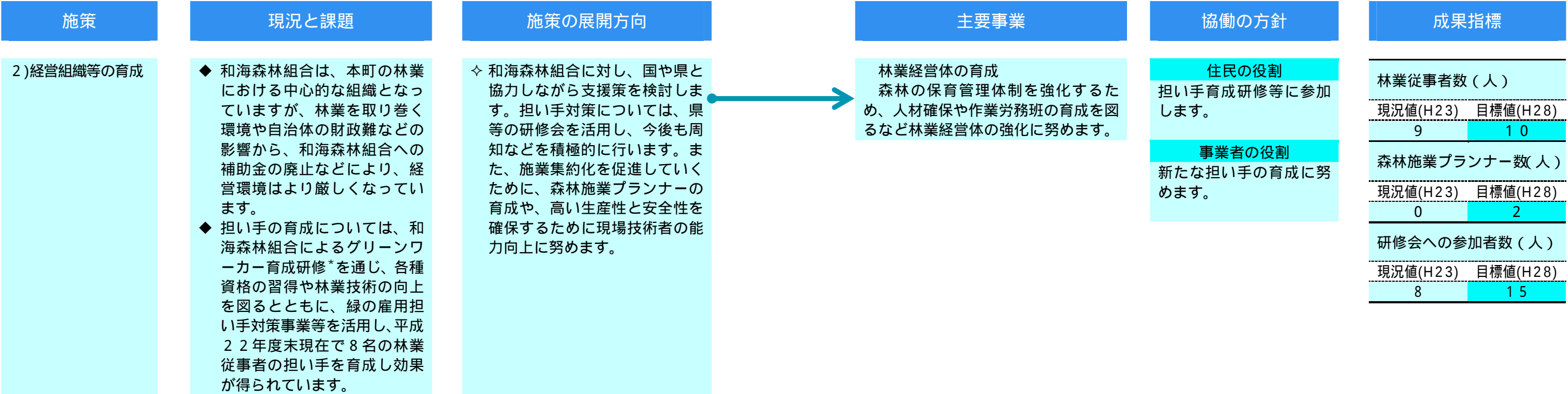


第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標															
1)森林施業の推進	◆ 材木価格の低下や森林所有者の高齢化などにより手入れの遅れた人工林が増加しており、林業において収益を上げることが難しくなっています。また、和海森林組合では作業の省力化、効率化のため高性能林業機械の導入を検討しましたが導入には至っていません。 ◆ 平成19年度に策定した森林整備計画に基づき間伐・作業道の新設等を行っています。また、緑の雇用担い手対策事業を活用することで、新たな担い手の確保に努めています。	◇ 国の制度改正に合わせ、森林の適正管理、林業環境の整備を行います。また、林業収入を確保するため高性能林業機械の導入の検討も進めます。 ◇ 広葉樹林の拡大、間伐等による山林の状態改善を実施し、里山環境の改善に努めます。	林業生産基盤の整備 制度改正による国の見通しは未定であるが、現在の進捗状態を維持できるよう山林整備に取り組みます。 森林施業の合理化 コスト削減に向けた林業機械の導入や作業道の整備を推進します。 森林の適正管理 企業による植栽や育林の誘致活動および間伐材への搬出補助に取り組みます。	住民の役割 森林の適正管理に努めます。 事業者の役割 森林施業の合理化に努めます。	<table><tr><td>年間の木材搬出量（m³）</td></tr><tr><td>現況値(H23) 目標値(H28)</td></tr><tr><td>4 4 9 1,0 0 0</td></tr><tr><td>林道舗装率（％）</td></tr><tr><td>現況値(H23) 目標値(H28)</td></tr><tr><td>8 2.0 8 5.0</td></tr><tr><td>過去1年間に保有山林で林作業を行った経営体の作業面積（a）</td></tr><tr><td>実績値(H21) 目標値(H28)</td></tr><tr><td>4,9 3 9 6,0 0 0</td></tr><tr><td>企業の森誘致数（件）</td></tr><tr><td>現況値(H23) 目標値(H28)</td></tr><tr><td>3 4</td></tr><tr><td>高性能林業機械の町内保有台数（台）</td></tr><tr><td>現況値(H23) 目標値(H28)</td></tr><tr><td>0 1</td></tr></table>	年間の木材搬出量（m³）	現況値(H23) 目標値(H28)	4 4 9 1,0 0 0	林道舗装率（％）	現況値(H23) 目標値(H28)	8 2.0 8 5.0	過去1年間に保有山林で林作業を行った経営体の作業面積（a）	実績値(H21) 目標値(H28)	4,9 3 9 6,0 0 0	企業の森誘致数（件）	現況値(H23) 目標値(H28)	3 4	高性能林業機械の町内保有台数（台）	現況値(H23) 目標値(H28)	0 1
年間の木材搬出量（m³）																				
現況値(H23) 目標値(H28)																				
4 4 9 1,0 0 0																				
林道舗装率（％）																				
現況値(H23) 目標値(H28)																				
8 2.0 8 5.0																				
過去1年間に保有山林で林作業を行った経営体の作業面積（a）																				
実績値(H21) 目標値(H28)																				
4,9 3 9 6,0 0 0																				
企業の森誘致数（件）																				
現況値(H23) 目標値(H28)																				
3 4																				
高性能林業機械の町内保有台数（台）																				
現況値(H23) 目標値(H28)																				
0 1																				



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
 - 第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
 - 第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
 - 第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）



用語解説

グリーンワーカー育成研修...明日の森林・林業の担い手に対し、森林の適正な維持管理に必要な知識や技能及び資格などの修得を図ることにより、地域林業のリーダーとなりうる林業技能作業士（グリーンワーカー）養成を目的とした研修のこと。



第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標
3)特用林産物、加工・流通の推進	◆ 本町の特産品のひとつであるシイタケは、志賀野、上神野、下神野地区において小規模ながら生産され、販売されています。自然食品として注目されている山椒については、京都府内のスーパーや市場での直接販売の実施などにより知名度は向上しつつありますが、引き続き山椒の活用方法などについての研究が必要です。	◇ 山林資源の有効活用を図るため、特用林産物の生産を強化するとともに、新たな山林資源の活用策を検討します。	特用林産物の生産 栽培技術の普及など特用林産物の品質向上を図るとともに流通の実態を把握し、販路の拡大に努めます。 加工、流通の推進 木材においては林道作業道整備を促進し、次期補助制度を活用しながら間伐材の搬出に取り組みます。またインターネットの活用やJ Aとの連携によるトップセールス、町内外開催の各種イベントでのPRに努め県外市場での販売を強化します。	住民の役割 特用林産物の生産を強化します。 事業者の役割 加工流通を推進します。	特用林産物出荷量（t） 3品抽出 シイタケ、山椒、タケノコ 実績値(H22) 目標値(H28) 126 140 特用林産物新規参入件数（件） 現況値(H23) 目標値(H28) 0 1 シイタケ・山椒・タケノコの新商品数（品） 現況値(H23) 目標値(H28) 1 2
4)森林の多目的利用	◆ 紀美野町林業研究グループが中心となり和歌山市内の小学校を受け入れ、年間約5校程度町内の山林において間伐体験などを実施し、環境問題や森林の尊さを教えることで、好評を得ています。また、林業公社により町内の2箇所において広葉樹の森の育林を行うことで、生物多様性の再生に努めています。 ◆ 間伐体験を実施しているメンバーの高齢化や体験できる山林の確保が今後困難となるため、後継者や体験山林を確保していく必要があります。	◇ 教育や観光など他の施策と連携しながら、本町の豊かな森林を有効に活用します。また、保健保安林*および森林公園機能の整備を検討します。	林業体験機能の整備 間伐体験の指導者の育成と山林の確保に努め、環境学習と連携しながら林業体験を推進します。 エコツーリズム*の展開 広葉樹の森や人工林の整備を推進し、各種団体・企業と連携した交流活動を通じ森林環境保全に努めます。	住民の役割 森林に触れ合い積極的に活動に参加します。 事業者の役割 森林の有効活用を研究するとともに関係機関と連携して体験活動等の実施に取り組みます。	林業体験学習者数（人） 実績値(H22) 目標値(H28) 450 500 広葉樹林面積（ha） 現況値(H23) 目標値(H28) 2,461 2,500

用語解説

保健保安林...森林法に基づき水源かん養、災害の防備、生活環境の保全・形成等の公益的機能を発揮させる必要がある森林を対象に指定する保安林のうち、生活環境保全機能および保健休養機能の高い森林として指定されたものである。

エコツーリズム...自然や生活文化についての知識を得て、体験や学習等をする旅。実地での体験や学習を通じて、自然や文化の保護の意識、資源の持続と保全への責任を育むことが特色である。

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

1 定住を促進する商業と工業を育成する

定住環境に不可欠な商業機能の充実を図るため、商工会等と連携し、住民生活に密着した商業活動、観光交流と連携した商業活動など、商業者の共同事業や新たな事業分野への取り組みを促進します。

既存工業の経営安定化の促進、企業育成を図るため、関係機関等と連携し、各種支援制度の活用を促進するとともに、立地環境の充実に努め、環境負荷の少ない企業等の誘致活動を進めます。

また、伝統技術の継承に努めるとともに、新たな製品開発や販路開拓、観光交流との連携などを強化し、伝統的な地場産業の振興を図ります。

第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標																
1)商工業の育成	◆ 商工会との連携により、各種相談、指導、講習会等の実施、融資制度の活用など事業者の経営基盤の強化に努めています。景気低迷の支援策として利子補給を実施しています。共通商品券、スタンプシールなどの商業団体の共同事業の支援、定額給付金の支給に合わせたプレミアム商品券発行事業などを行い、平成23年度からは買い物弱者支援対策事業に着手し、地域の活性化と安心して生活できる環境を確保するための対策を検討しています。 ◆ 長引く不況により企業活動がますます低下の一途をたどっており、企業の規模縮小や廃業が今後一層進むことが懸念されています。そのため、国、県等の支援制度の情報について商工会を通じ積極的に提供し新規創業等を図っています。 ◆ 商工会との連携により、インターネットを利用した販売方法や地域課題に対応するコミュニティビジネス起業への事業参画について、情報提供を行っています。今後は、さらに社会のニーズを的確に把握し、情報提供に努める必要があります。	◇ 定住環境に不可欠な地域における商業機能の確保に努めます。また、引き続き商工会等との連携により、各種相談、指導の充実、講習会の実施、経営基盤の強化を支援し、併せて後継者や新規事業者の育成に取り組みます。「きみの商業協同組合」、「のかみスタンプシール会」などの共同事業を引き続き支援していきます。さらに買い物弱者対策について検討し、支援を行います。 ◇ 商工会や関係機関との連携により、経営基盤の強化を図り企業の安定経営を支援します。また、新規創業や新規事業化に関する支援制度の情報提供に努めるとともに、新たな支援策の導入について検討します。 ◇ 観光関連事業を取り入れたコミュニティビジネスへの参画を促進するため、情報提供を行いながら支援体制を検討します。	経営基盤の強化 商工会等との連携により各種支援制度を活用した企業の経営改善や設備投資を促進するとともに、各種相談、指導の充実、講習会の実施により経営基盤の強化を支援します。 共同事業活動等への支援 共通商品券、スタンプシールといった共同事業活動や、過疎化の影響による買い物弱者に対する利便性の改善を図る取り組みなど地域課題と連携する活動を支援します。 新規事業等への支援 新規創業や新規事業化を促進するため、商工会等と連携し、積極的な情報提供に努めるとともに新たな支援策の導入も検討します。	住民の役割 地域の商店などで積極的に購買します。また、企業活動に理解を深め、地域における共存を進めます。 事業者の役割 地域へのサービス向上を図ります。また、自助努力による経営改善や地域の雇用に努めます。	町民アンケート調査より、日常の買い物や娯楽に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>8.8</td><td>35.0</td></tr></table> 町民アンケート調査より、就労・雇用の場の拡大に「満足」「やや満足」と回答した人の割合（％） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2.5</td><td>25.0</td></tr></table> 商工会の会員数（人） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>379</td><td>400</td></tr></table> 紀美野町小規模事業者経営改善資金利子補給申請件数（件） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>50</td><td>50</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	8.8	35.0	現況値(H23)	目標値(H28)	2.5	25.0	現況値(H23)	目標値(H28)	379	400	現況値(H23)	目標値(H28)	50	50
現況値(H23)	目標値(H28)																				
8.8	35.0																				
現況値(H23)	目標値(H28)																				
2.5	25.0																				
現況値(H23)	目標値(H28)																				
379	400																				
現況値(H23)	目標値(H28)																				
50	50																				







第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第1節	環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
第2節	雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
第3節	産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標													
2)伝統的産業の継承	◆ 伝統工芸品である棕櫚箒を製造する事業者の後継者により、棕櫚樹木の植林を行う新たな取り組みを開始しました。また、平成20年度から開始した伝統工芸後継者育成支援事業により、棕櫚箒製造事業者である商店において、2名の後継者を育成することができました。 ◆ 伝統的工芸品の「本物の良さ」や、日常生活における使用・活用方法等について情報・理解が不足していると考えられ、さらなる情報提供を図るとともに新たな販路開拓の必要があります。	◇ 伝統的な棕櫚製品の町内活用、棕櫚樹木の保全について引き続き対策を検討していきます。また、伝統工芸後継者育成支援事業により、後継者の育成をさらに支援するとともに、付加価値を重視した商品開発や新たな販路開拓など、情報提供と支援を進めます。	伝統産業の育成 伝統工芸の後継者育成とともに、新たな商品開発や販路開拓に努めます。	住民の役割 棕櫚製品の活用、口コミの情報提供を心がけます。	<table><tr><td colspan="2">棕櫚製品の後継者育成人数（人）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2</td><td>3</td></tr></table> 事業者の役割 担い手の育成と自助努力による販路拡大に努めます。	棕櫚製品の後継者育成人数（人）		現況値(H23)	目標値(H28)	2	3	<table><tr><td colspan="2">町内の棕櫚製品事業所(軒)</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2</td><td>5</td></tr></table>	町内の棕櫚製品事業所(軒)		現況値(H23)	目標値(H28)	2	5
棕櫚製品の後継者育成人数（人）																		
現況値(H23)	目標値(H28)																	
2	3																	
町内の棕櫚製品事業所(軒)																		
現況値(H23)	目標値(H28)																	
2	5																	
3)企業等の誘致	◆ 厳しい社会情勢の中、企業の誘致・立地は進んでいないのが現状です。税制上の優遇制度についても各自治体とも取り組んでおり、企業誘致のための用地確保や環境改善を進める必要があります。	◇ 企業誘致にあたっては、用地確保、優遇制度の他に、住宅や住環境などの対策が必要であり、人口の定住を促進する上でさまざまな課題への対応を行うなど総合的な企業誘致を促進します。さらに、本町の地域性を十分生かせる企業の誘致に努めます。	受け入れ体制および環境改善 用地の確保や優遇税制だけでなく住環境の整備も含めた対策を検討し、さまざまな分野の事業所や施設の誘致に努めます。	住民の役割 企業活動に理解を深め、地域における共存を進めます。	<table><tr><td colspan="2">新規企業立地数（件）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>0</td><td>1</td></tr></table> 事業者の役割 立地企業等との交流による商取引機会の拡大に努めます。	新規企業立地数（件）		現況値(H23)	目標値(H28)	0	1	<table><tr><td colspan="2">工業団地稼働率（％）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>100</td><td>100</td></tr></table>	工業団地稼働率（％）		現況値(H23)	目標値(H28)	100	100
新規企業立地数（件）																		
現況値(H23)	目標値(H28)																	
0	1																	
工業団地稼働率（％）																		
現況値(H23)	目標値(H28)																	
100	100																	

2 地域資源を活かした観光交流を進める

交流を力にするまちづくりを基本に、自然や温泉、歴史、文化遺産などの多様な観光資源と、和歌山市や京阪神に近接している立地を活かした観光交流の推進体制を強化します。また、農林水産業や健康スポーツとの組み合わせなど観光資源相互のネットワーク化、高野山を含めた広域連携による周遊商品の提供など誘客企画を推進し、観光交流の振興により地域経済効果を生む仕組みづくりを一層強化します。



第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）

第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）

第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）

第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）

第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）

第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）

第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる

第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標																																				
1)観光交流推進体制の強化	◆ 海南海草地方広域観光協議会への参加により、広域的に魅力ある観光地づくりと観光客の誘致促進に取り組んでいます。また、各種の観光情報の提供を行うとともに、案内板や道路標識の整備を順次行っています。さらに、地元の特産品を使ったモノづくり体験、みさと天文台の星空ツアーなど、地域ならではの体験ができる活動を行う中で、宿泊施設との提携により、教育旅行の受け入れを進めています。 ◆ 農産加工グループ等により紀美野ブランドのお菓子等の開発を進め、町内外に向け商品の販路開拓を行い、町内のイベントや観光地で商品のアピールを行っています。 ◆ 町内には、アウトドア活動や体験学習、歴史文化学習、スポーツ活動など多様な体験学習機能を有する観光資源があり、これらの機能を連携活用するような取り組みを進めていく必要があります。	◇ 観光情報を積極的に発信するとともに、広域的な観光連携事業の強化に努めます。平成24年度からは「道の駅」の整備に向けて、関係機関と連携のもと取り組みます。また、都市部の小・中学生を対象とした教育旅行の受け入れを強化します。さらにツアーガイドの育成を強化し、より多くの来訪者との交流を促進します。 ◇ 開発したお菓子等を紀美野ブランドとして定着させるため、定期的に販売のできる体制づくりを検討します。また、引き続き地元の独自ブランドの開発を進めるため、農林産物の原材料等の活用を積極的に行います。	観光推進組織体制の整備 町観光協会の組織整備を進め、観光交流を支える推進母体としての体制を強化するとともに海南海草地方広域観光協議会との連携を強め、PR・誘客活動をはじめ広域連携事業を推進します。 ホスピタリティの向上 町全体で来訪者を温かく迎え入れることができるようおもてなしの心で接するホスピタリティの向上に努めます。 観光交流情報の発信、情報拠点の整備 来訪者の情報提供拠点ともなる「道の駅」の整備を検討するとともに、観光案内板等の整備を図ります。 多様な観光プログラムの開発と提供 従来からある観光資源の機能を連携活用するようなメニューの整備に努めるとともに、町独自の特色ある取り組みについて誘客企画を推進し、観光交流の振興により地域経済効果を生む仕組みづくりを強化します。	住民の役割 観光ガイドに登録し、観光の振興に協力します。また、まつりやイベントの企画から開催まで積極的に参画します。 事業者の役割 地元産品を使った商品の開発とPRに努めます。	<table><tr><td colspan="2">入込み観光客数（人）</td></tr><tr><td>実績値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>512,726</td><td>600,000</td></tr><tr><td colspan="2">観光交流施設の利用者数（人）</td></tr><tr><td>実績値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>185,422</td><td>200,000</td></tr><tr><td colspan="2">教育旅行の受入数（件）</td></tr><tr><td>実績値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>9</td><td>20</td></tr><tr><td colspan="2">観光客の宿泊者数（人）</td></tr><tr><td>実績値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>28,972</td><td>32,000</td></tr><tr><td colspan="2">道の駅の整備数（箇所）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">ツアーガイド登録者数(人)</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>0</td><td>10</td></tr></table>	入込み観光客数（人）		実績値(H23)	目標値(H28)	512,726	600,000	観光交流施設の利用者数（人）		実績値(H23)	目標値(H28)	185,422	200,000	教育旅行の受入数（件）		実績値(H23)	目標値(H28)	9	20	観光客の宿泊者数（人）		実績値(H23)	目標値(H28)	28,972	32,000	道の駅の整備数（箇所）		現況値(H23)	目標値(H28)	0	1	ツアーガイド登録者数(人)		現況値(H23)	目標値(H28)	0	10
入込み観光客数（人）																																									
実績値(H23)	目標値(H28)																																								
512,726	600,000																																								
観光交流施設の利用者数（人）																																									
実績値(H23)	目標値(H28)																																								
185,422	200,000																																								
教育旅行の受入数（件）																																									
実績値(H23)	目標値(H28)																																								
9	20																																								
観光客の宿泊者数（人）																																									
実績値(H23)	目標値(H28)																																								
28,972	32,000																																								
道の駅の整備数（箇所）																																									
現況値(H23)	目標値(H28)																																								
0	1																																								
ツアーガイド登録者数(人)																																									
現況値(H23)	目標値(H28)																																								
0	10																																								



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
 - 第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
 - 第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
 - 第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標												
2)水産資源の活用	◆ 近年増加しているカワウ被害については、駆除などを実施しています。また、貴志川漁業協同組合の経営や釣り客の確保のため、冷水病に比較的強い鮎の放流に努めました。 ◆ 貴志川漁業協同組合の支援等を行っています。また、釣り客の減少に伴い経営に苦慮しています。また、各種情報提供やPR、イベント等を実施し釣り客の誘致に努めています。	◇ 地域や各種団体と協力しながら、観光交流と連携したイベントの開催など、釣り客の増加に繋がる誘致活動を支援します。	遊漁の振興などの河川活用 釣り客の減少、遊漁料金の減収、それに伴う放流量の減少と悪循環であるため増益を図れるよう検討をします。	住民の役割 イベントなどに積極的に参画します。 事業者の役割 担い手の育成に努めます。また、まつりやイベントの共催など観光振興に積極的に参画します。	<table><tr><td colspan="2">河川を活用したイベント数（件）</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td colspan="2">鑑札の販売枚数（枚）アユ・アマゴ</td></tr><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>4 2 8</td><td>4 7 0</td></tr></table>	河川を活用したイベント数（件）		現況値(H23)	目標値(H28)	1	2	鑑札の販売枚数（枚）アユ・アマゴ		現況値(H23)	目標値(H28)	4 2 8	4 7 0
河川を活用したイベント数（件）																	
現況値(H23)	目標値(H28)																
1	2																
鑑札の販売枚数（枚）アユ・アマゴ																	
現況値(H23)	目標値(H28)																
4 2 8	4 7 0																



第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す

1 新たな付加価値を生む事業をおこし推進する

既存産業の振興に加え、地域産業間の融合による新たな分野の事業おこしを促進し、地域資源活用型のものづくり事業や地域を元気にするコミュニティビジネスの育成など、新たな就労・雇用機会の創出に努めます。



- 第1章 みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
- 第2章 住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
- 第3章 安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
- 第4章 福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
- 第5章 豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
- 第6章 活気のあるまちづくり（活力ある産業）
 - 第1節 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
 - 第2節 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
 - 第3節 産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
- 第7章 行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標								
1)地域資源活用型ものづくりの展開	◆ 町の木である桜にちなんだ和菓子の開発、地元農産物の山椒を利用したお菓子の開発など地域ブランドづくりに向けての支援を行っています。 ◆ 平成23年度からは、ながみね農協の真国支所を地域のコミュニティ拠点として活用し、地元で採れた農産品を使っての商品づくりも検討中です。 ◆ 町の産品加工所で製造した製品をPRし、大手スーパーなど新たな販売店の確保に繋げるとともに、町内の個人製造者にも販路開拓に繋がる情報提供を行っています。 ◆ 間伐材を利用した燃料チップについて情報収集を行いました。コストが課題となっています。	◇ ものづくり研究開発の支援に取り組むとともに、町内の遊休施設について農産物の生産・加工施設などとして有効活用を検討します。 ◇ 販路拡大に向けて、商品のパンフレット等媒体を作成するなど、情報発信、PRを積極的に推進します。 ◇ 専門的な技術者や関係機関等と連携し、地域資源を利用した価値ある商品の開発を続けます。	ものづくりの研究開発の支援 地元農産物を利用した地域ブランド商品づくりへの取り組みなどを支援します。 ものづくり生産体制の整備 加工生産施設と事業組織の整備を進め、生産体制を強化し、紀美野ブランド商品づくりを促進します。 販売施設の連携と販売方法の工夫 販売施設間の連携を進め、観光交流と連携した情報発信・PR機能の充実を図ります。	住民の役割 商品の口コミの情報提供を心がけます。 事業者の役割 研究開発、販路開拓など経営の安定に努めます。	きみのふるさと推奨品として認定されている商品の数（品） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>24</td><td>35</td></tr></table> 町内加工グループにおける総販売額（千円） <table><tr><td>実績値(H22)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>5,300</td><td>10,000</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	24	35	実績値(H22)	目標値(H28)	5,300	10,000
現況値(H23)	目標値(H28)												
24	35												
実績値(H22)	目標値(H28)												
5,300	10,000												
2)コミュニティビジネスの起業促進	◆ 新たな産業創出と育成、地域内の就労・雇用に貢献するコミュニティビジネスの起業を促進するため、情報提供に努めました。 ◆ 事業組織の育成は、関係団体への情報提供は行いましたが、十分な成果は得られておらず、効果的な支援について検討が必要となっています。	◇ コミュニティビジネスの起業を促進するための情報提供に努めるとともに、事業おこしの可能性を研究する活動を支援します。 ◇ 事業組織の育成に向けて関係団体への情報提供に努めるとともに、より効果的な支援方法についても検討します。	コミュニティビジネスの研究・支援 コミュニティビジネスの起業を促進するための情報提供に努めるとともに、事業おこしの可能性を研究する活動を支援します。	住民の役割 コミュニティビジネスに対する理解を深め、起業の可能性について検討します。 事業者の役割 コミュニティビジネスに対する理解を深め、起業の可能性について検討します。	コミュニティビジネスの実施団体数（件） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	1	2				
現況値(H23)	目標値(H28)												
1	2												

2 就労・雇用の場の拡大に努める

関係機関と連携しながら、働きやすい職場づくり、就労・雇用機会の拡大など、定住促進と連携する就労・雇用の場の充実に努めます。



第1章	みんなでつくるまちづくり（協働と交流）
第2章	住みやすいまちづくり（快適な暮らし）
第3章	安全・安心なまちづくり（安全・安心な暮らし）
第4章	福祉の充実したまちづくり（心豊かな暮らし）
第5章	豊かな教育をめざすまちづくり（生涯学習）
第6章	活気のあるまちづくり（活力ある産業）
第1節	環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てる
第2節	雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
第3節	産業間の融合により、就労・雇用の場を創り出す
第7章	行財政改革をめざすまちづくり（自治体運営）

施策	現況と課題	施策の展開方向	主要事業	協働の方針	成果指標												
1)雇用・就労の安定	◆ 商工会と連携し、健康診断の実施、労務・福利厚生対策の相談・指導・情報提供に努めました。また、雇用労働条件の向上や安全な職場環境づくりを促進するため、相談・指導・情報提供を行いました。 ◆ 海南公共職業安定所などの関係機関と連携し、広域的な求人・雇用情報の情報提供に努めるとともに国の雇用対策事業を積極的に活用し、地域の失業者の雇用の場の創出に努めました。 ◆ 雇用環境の変化により、高齢者労働力の積極的な活用や多様な就労・雇用形態に対応した就労支援、後継者の育成などが求められています。	◇ 勤労者が健康で安心して就労できるような職場環境づくりを推進します。また、労務・福利厚生対策についての相談や指導、情報提供を行い、勤労者の福祉の充実に努めます。 ◇ 雇用・就労情報の提供や技能習得の促進のため、国、県等関係機関から発信される情報を商工会と連携し情報公開に努めます。また、高齢者の就業機会を創出するシルバー人材センター活動への支援を図ります。	雇用・就業促進の情報提供 公共職業安定所などの関係機関と連携し、広域的な求人・雇用情報の提供に努めます。 雇用・就労の場の充実 地域産業の振興対策や企業の経営安定支援、地域資源を活用した観光関連事業やコミュニティビジネスを支援し、雇用・就労の場の充実に努めます。	住民の役割 健康に留意し、安全で快適な職場環境の維持に努めます。 事業者の役割 障害者や高齢者の雇用の創出を図るとともに、安定的な雇用機会の提供に努めます。	町民アンケート調査より、就労・雇用の場の拡大に「満足」と回答した人の割合（％） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>2.5</td><td>10.0</td></tr></table> シルバー人材センター会員数（人） <table><tr><td>現況値(H23)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>145</td><td>300</td></tr></table> 町内事業所の従業者数（人） <table><tr><td>実績値(H21)</td><td>目標値(H28)</td></tr><tr><td>3,390</td><td>4,000</td></tr></table>	現況値(H23)	目標値(H28)	2.5	10.0	現況値(H23)	目標値(H28)	145	300	実績値(H21)	目標値(H28)	3,390	4,000
現況値(H23)	目標値(H28)																
2.5	10.0																
現況値(H23)	目標値(H28)																
145	300																
実績値(H21)	目標値(H28)																
3,390	4,000																